

稲光会報

第36号 50号

平成26年7月15日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行者 田中 一
題字 滝口 宏

早稲田大学フェンシング部 HP
<http://www.wasedafencing.com>



リーグ戦女子エペの山村（2年）

小野梓記念賞 3件受賞!!

団体名誉賞・稲門体育会賞、団体奨励賞、個人名誉賞で歴史に名を刻む



2014年3月、当部は「2013年度小野梓記念スポーツ賞」を3件受賞という輝かしい表彰を受けました。

小野梓記念賞の表彰制度は、1882年に大隈重信が東京専門学校を創立した時の功労者である小野梓を記念し、建学の精神を掲揚する目的

女子エペ完全優勝、男子サーベル入替戦

(監督・中村立雄)

で1958年に制定されました。本学の学生が受ける中で最高の賞であり、競技スポーツセンターの運動部として受賞は最高の名誉となります。

今回の表彰は、男子フルール団体（第62回日本学生王座決定戦優勝、第53回全日本大学選手権大会優勝）、鬼澤大真（第27回ユニバーシアード男子フルール個人7位入賞）そして北川隆之介（2013アジア選手権大会男子フルール団体準優勝）の3件であり、フェンシング部の評価を大いに高めてくれました。また、体育表彰式におきまして男子フルール団体が団体名誉賞・稲門体育会賞を受賞、女子フルール団体は団体奨励賞（第66回全日本選手権優勝）をそして、北川、鬼澤、真所美莉（第63回全日本学生選手権女子フルール個人優勝）の3人が個人名誉賞を受賞しわが部の歴史にその栄光の名を刻みました。

平成21年卒 池内祥
夢はドイツで仕事とフェンシングの日々！

ご無沙汰しております。平成21年度卒の池内祥です。

卒業後、大学院に進学し平成24年から社会人となり、現在寺田洋先輩と同じ三菱商事にて勤務しています。入社後は繊維本部に配属され、その後は子会社、上海・インドネシアの海外場所を経験して、今年1月中旬より大阪の関西支社へ転勤となりました。大阪では平石典子、三澤杏奈が勤務しており度々一緒に飲んでおります。

担当業務は大人用オムツの素材調達、高級スーツ裏地の原料調達です。何ともユニークな商材を扱っておりますが、出張も多く4月だけでイタリア・スイス・インド・タイ・香港と回っております。

特に思い出深いのは、欧州の出張先でフェンシングの選手だったと、自己紹介するとすぐ覚えて頂き、距離を早く縮める事が出来た事です。上司からは「池内は欧州向きかもしれない」との言葉を頂き、密かにドイツ支店駐在を狙っております。仕事とフェンシングの日々、最高でしょうね。

今年ももう半分が過ぎようとしています。深夜のラーメン・王将で肥えた体重を減らし、現役生・OBと全日本で戦うべく努めて参ります！
大阪にいらっしやっただけは是非ご連絡下さい！



左から平石 (H25)、池内 (H21)、澤田 (H22) 会員と三澤さん

昭和58年卒 遠藤聡一

一生フェンシングからは抜けられません

新潟在住 S58卒の遠藤聡一です。先般、同郷の富山泰男先輩 (S57卒) がアイスクリーム場で骨折され、そのお見舞いに3月に内田敏朗先輩 (S57卒) が、また5月に田中一先輩 (S54卒)、木田武夫先

輩 (S54卒)、原田充先輩 (S56卒) が新潟を訪れてくださいました。歓談、酒席の場にご一緒させていただき、楽しい時間を過ごすことが出来、皆様にご無沙汰している身としましてはたいへんありがたいことでした。

新潟では相変わらず協会や母校新潟高校でフェンシングに携わっております。新潟県フェンシング協会では、現在小林秀直先輩 (S46卒) が副会長、富山先輩が理事、遠藤



新潟県高校総体にて。左から富山先輩 (S57)、小林先輩 (S46)、遠藤 (S58)

が理事長今年度新任の職についており、どつぷりとフェンシングに浸かっている感じがします。フェンシングからは一生抜けられないかもと覚悟を決めたこの頃でございます。

ということで、新潟から母校早稲田に進学しフェンシングを続ける生徒を育てることが、大きな使命と肝に銘じておりますので、その節にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

WASEDA CLUB

ワセダクラブは今年で活動11年目です。在籍者約40名。日曜午前中道場で元気にフェンシングを楽しんでいます。ワセダクラブを卒業し高校・大学で活躍する選手も増えていきます。


- 主な試合結果
東日本少年大会 (5月)
中学女子フルール 黄田佳倫 3位
中学女子エペ 関 涼乃 3位

新人紹介

- ① 学部
- ② 出身高校
- ③ 種目
- ④ 抱負
- ⑤ 主な戦績


千葉 綺音 (ちば あやね)

① スポーツ科学部
② 大阪府立北野高等学校
③ フルレー/エペ
④ フルレーとエペ、どちらも強い選手になる。
⑤ 平成25年度インターハイ女子エペ8位




北原 達也 (きたはら たつや)

① スポーツ科学部
② 長野県立伊那北高等学校
③ フルレー
④ 大学のフェンシングに慣れ、先輩に追いつけるように頑張ります。
⑤ 平成25年度インターハイフルレー個人ベスト16、団体ベスト8




山根 周祐 (やまね しゅうすけ)

① スポーツ科学部
② 埼玉県私立埼玉栄高等学校
③ フルレー
④ 今年卒業された高校の先輩でもある北川隆之介先輩のように小さくても勝てる選手になり、個人でも団体でも活躍する。
⑤ 平成23年度全国選抜準優勝




竹下 昇輝 (たけしたししょうき)

① スポーツ科学部
② 静岡県立袋井高等学校
③ サイプル
④ 世界ジュニアで優勝する。
⑤ 2012年世界ジュニアアカデ選手権大会出場



工藤 功輝 (くどう こうき)

① 社会科学部
② 東京都私立早稲田大学高等学院
③ エペ
④ 4年以内にインカレ優勝を狙います。
⑤ 特に無し




なごやかに歓談するOB、現役



北原会長



西澤副会長

◎会費納入のお願い
平成26年度の稲光会費納入をお願いします。
6月現在、納入された会費数は例年より少ない状況です。今一度確認の上、お振込み頂くようお願いいたします。
稲光会費・・・1万2000円
振込み先・・・みずほ銀行日本橋支店
口座番号・・・普通預金口座 2424751
口座名義・・・早稲田大学稲光会
既にお振込み、引き落とし手続きをされている先輩につきましてはご容赦願います。



現役も勢ぞろいして激励を受ける

◎平成26年度稲光会総会開催
平成26年度総会が4月15日大隈講堂前、第二学生会館15階「西北の風」にて開催されました。矢口先生はじめ会員14名と20名を超える現役部員が出席、議長の北原会長のもとで進められ25年度活動報告・決算報告。26年度活動計画・予算計画・幹事人に案等を審議、承認した。役員人事では西澤民夫先輩(S41卒)が副会長に信任されました。
懇親会では会員・現役部員の紹介、谷口主将のリーグ戦への決意表明が行われた。

2014 年前半戦績



女子エペの山根 (3年)



女子エペの山根 (3年)

- 【男子フルレー】**
2勝3敗 1部4位
早稲田大学○45-33 ●日本体育大学
早稲田大学●25-45 ○日本大学
早稲田大学●23-45 ○中央大学
早稲田大学○45-22 ●明治大学
早稲田大学●37-45 ○法政大学
- 【男子エペ】**
2勝3敗 1部4位
早稲田大学●34-45 ○専修大学
早稲田大学○45-37 ●明治大学
早稲田大学○42-32 ●日本体育大学
早稲田大学●38-45 ○法政大学
早稲田大学●26-45 ○日本大学
- 【男子サープル】**
5敗 1部6位 (入替戦)
早稲田大学●26-45 ○日本大学
早稲田大学●28-45 ○専修大学
早稲田大学●39-45 ○中央大学
早稲田大学●19-45 ○法政大学
早稲田大学●32-45 ○明治大学
- 【女子フルレー】**
2勝3敗 1部4位
早稲田大学●20-27 ○専修大学
早稲田大学●23-45 ○法政大学
早稲田大学○33-31 ●日本女子体育大学
早稲田大学●22-31 ○日本大学
早稲田大学○29-26 ●日本体育大学
- 【女子エペ】**
5勝 1部優勝
早稲田大学○45-33 ●日本女子体育大学
- 【女子サープル】**
1勝4敗 1部5位
早稲田大学●37-45 ○東京女子体育大学
早稲田大学●43-45 ○専修大学
早稲田大学○45-28 ●日本女子体育大学
早稲田大学●37-45 ○法政大学
早稲田大学●35-45 ○日本大学
- ◇入替戦
【男子サープル】 1部残留
早稲田大学○45-35 ●拓殖大学
- ◇王座決定戦
【女子エペ】 準優勝
1回戦 早稲田大学○45-38 ●中京大学
決勝 早稲田大学●40-45 ○朝日大学

監督総評

成長の女子エペ完全優勝、試練の入替戦男子サープル。今期のリーグ戦は、大活躍の卒業生が抜けた後、試練の闘いの覚悟で、春合宿・強化練習に臨んできました。その成果として、関西リーグでは各種目上位の実力を持つ対立命館との定期戦で、久しぶりに男女6種目の勝利を得、勢いをつけてリーグ戦に突入しました。

必死の健闘の女子フルレー陣、昨年と同メンバーで地方をつけ、際どい場面も順調に乗り越え完全優勝の女子エペ陣そして他の種目も1部リーグチームでは戦力層の薄さ中、皆良く健闘してくれました。ただ、男子サープルは過去2年間1部リーグで5位と入替戦を回避してきましたが今年は試練の入替戦となりました。

リーグ戦終了後、入替戦、王座決定戦と2週間の緊張が続く中、「試練の闘い」、「栄光への挑戦」と相違つた雰囲気の中、全部員一丸となって調整に励みました。そして迎えた、先ず入替戦(対拓大2部優勝)、互いにエキサイトした。

入替戦、関西の上位校の実力も把握出来たことから、秋の大会での活躍を大いに期待したいところです。また、他の種目も春の試練を乗り越えたことを自信につなげ、秋には全力を出し切って好成績を上げることを期待しています。なお、付記しますと、春のリーグ戦で慶応大学が男子フルレー、男子エペそして女子サープルの3種目で1部リーグ復帰を果たしました。早慶戦は油断できません。

(監督・中村立確)